

オリジナル設計(株)



東日本支店新潟技術課

家井 拓也さん

応用生物学部応用生物学科卒
入社5年目

ウェルビーイング 経営に力を入れる

オリジナル設計は、昭和37年(1962年)に創業し、60年以上の歴史を持つ建設コンサルタン

トで、国内外の上下水道を中心とした社会インフラの計画・設計等のほか、各種資産の調査・整理・評価や台帳システムに関わってきた。経営面では「ウェルビーイング経営」に力を入れており、社員が健康に働き続けることができる取り組みを展開している。その一環として健康を意識した社員へのスマートフォンオッチ貸与を行っており、家井さんも日々の運動量などのチェックを欠かさないという。

の研究を行っていたことから、就職先として研究内容を活かし、仕事を通じて社会貢献ができる企業を探そうと、計画・設計などを担うコンサルタントへの関心が高まりました。その中でも、地元新潟県で働けることや、職場訪問で風通しの良い先進的な企業だと感じたことがオリジナル設計を選んだ決め手になりました」と振り返る。

日進月歩で発達する 技術を実感

新潟技術課では、下水道の事業計画・全体計画策定支援や、施設・管さよの耐震化を含めた設計、ポンプ場の修繕・改築計画策定支援、台帳システム運用支援などを行っており、家井さんは管さよ

仕事を通じて社会貢献 やりがいとともに責任感が

は液状化が発生しやすいという特徴があります。地元出身でそういった事情を知っていることは、設計業務の中でプラスになつていきます」と話す。

20代のうちに技術士 取得めざす

入社後約20件の設計を手がけた。「設計した案件が実際に施工されるとやりがいを感じます。入社してすぐに担当した仕事で、下水管さよ更生の設計で、施工現場を見に行ったときには、やりがいとともに公共インフラ施設の管理に寄与する責任感も強く感じました」と、都市活動を支えていることを実感したという。また、ドローンによる水管橋の点検調査や、360度カメラを活用した下水道管内調査などを通じて、技術が日進月歩で発達していることを感

風通しの良い先進的な企業

風通しの良い先進的な企業。学生には、「オリジナル設計は、やる気があれば仕事を任せてもらえる企業です。コンサルタントとして社会に貢献することに興味がある人は、ぜひ問い合わせてみてください」と呼びかけた。

水 道 産 業 新 聞

2024年(令和6年)2月26日(月曜日)



■苦手な分野に挑戦
就職活動中に、大学の求人にも営業職の新人社員募集があった縁で入社し、今年で9年目になります。事務所の営業グループのリーダーとして、お客さまである地方公共団体の水道・下水道の施設や管路の設計・計画を担当する部署や会計の担

当部署を訪問し、日常の困りごとなどを聞き取るほか、今後の事業の動きを注意深く調べ、将来の受注につなげるのが主な仕事内容です。実は営業の仕事には当時から苦手意識があり、今でも得意とは思っていません。オリジナル設計の営業にもさまざまなタイプの人間があり、一概

オリジナル設計
西日本営業部 営業課 主任
田中 博明さん

あえて飛び込んだ新境地

■自己主張も大事に
仕事をすすめる上では、互いの合意を取った上で進めることが重要です。そのため、営業として相手の意見を聞くことはもちろん、こちらの考えや立場もきちんと主張し、理解してもらおうことを心がけています。また、自分の意見がちゃんと相手に伝わっているかどうかを確認することの大切さも感じています。

現在は、事務所として掲げる受注目標の達成のために日々努力をしているところです。あくまで個人ではなく事務所として

てのノルマではありませんが、客先回りをはじめ、国や関係機関の動向についても情報収集を行うなど、持っている力を総動員しています。最近では自分が部下を持つようになったことから、部下への教育や業務の差配といった業務も担当するようになりました。自分の立場の変化を感じるとともに、若手が働きやすい環境になるよう、誰かに業務が集中していないかなど、常に周囲に目を配るようにはしています。

■働きやすい制度も充実

個人的な変化でいえば、私自身も子どもができてから働き方が変化しました。オリジナル設計では30分単位での時差出勤が認められていますので、朝は保育園に子どもを送り届けてから定時より遅く出社しているほか、週1日は在宅勤務を行っています。社員のライフスタイルの変化に合った働き方が実現できるのが魅力だと思います。

オリジナル設計は、財務基盤も安定した伸びしろのある企業です。上下水道という不可欠なインフラに携わる社会的な貢献度は高く、仕事を受注できたときの喜びは何よりも大きいものです。この喜びをともに味わう仲間をお待ちしています。



描いた図形がそのまま形に



るので、上司や先輩方に気軽にアドバイスをもらいながら進めることができます。

■可能性ある業界

大学で学んだことを生かすことも重要ですが、入社してから得る知識・経験は計り知れません。学生の皆さんには就職先を決める際、自分が関わっていないからと決めつけずに挑戦したいという思いを大切にして、業界や会社を選んでほしいです。

オリジナル設計
施設インフラ本部 ファシリテイティ三部
ストラクチャー・エンジニアリング二課

伏見 あかねさん

■震災を機に

仙台市内に在住していた高校生の頃に、東日本大震災で被災しました。震災によりさまざまなインフラが使用できなくなったことでそれらの重要性を実感し、将来はインフラ分野の仕事に就きたいと思うようになりました。

■充実する

フォロワー体制

入社当初は上司の打ち合わせに同行して議事録を作成するなどしていましたが、全ての業務内容をまだ把握しきれていなかったため、よく上司にフォローしてもらっていました。入社7年目になった現在はこちらまで支えてもらってきた分、自分のことだけでなく周りのことをよく見て、これまで以上に後輩のサポートにも徹したいと思っています。

化が完了しており、部署が異なってもコミュニケーションを取りやすい環境になっています。気軽に質問しやすい雰囲気も醸成されていて、とても風通しが良いと感じますね。昨年度から下水処理施設の新設に関わる基本設計業務に携わるようになりましたが、今まで培ってきた知識だけでは対応できないこともあ

ります。もし下水道に興味があれば、当社も候補の一つに入れてもらえると思うので。

た。大学では土木系の学部に進み、所属していた下水処理に関する研究室でオリジナル設計を紹介してもらい、会社説明会で女性社員が活躍していることなどを知ったことが入社を決め手です。

■可能性ある業界

現在、処理場・ポンプ場の耐震診断や耐震補強、新設の基本設計業務などを担当しています。主に報告書作成のほか、業務計画書や構造計算等の資料作成、工程管理、社内や客先との打ち合わせ、対象施設の現地調査など



当社はフリーアドレス

オリジナル設計(株)



水インフラ本部コンサルティング一部
エンジニアリング課

坪井 一馬さん

理工学部土木工学科
入社6年目

水コン協のホームページで企業選び

いと考えていたので、就職活動では水コン協(全国上下水道コンサルタント協会)のホームページに掲載している企業を中心に受けていました。

水道業務は「ゼネラリスト」

大学では下水道、就職してからは水道に携わるようになった坪井さんは、浄水場やポンプ場などの施設や設備の設計を担当する部署に所属している。

「ビジネス用語としては、専門性を発揮する『スペシャリスト』、幅広い知識を持つ『ゼネラリスト』の呼び方がありますが、私の中では、水コンサルタントの水道業務は『ゼネラリスト』だと思います。水道という一つ

「大学では下水道のゼミに入っていたので、もともと水インフラに関わる仕事に興味があったのですが、ゼネコンのような、ヘルメットをかぶって現場で汗を流す『ガテン系』の仕事は自分には向いていないと思っていました。2〜3年のスペンで異動がある公務員よりも、一つの分野に専念できる民間企業で働きた

"完成形、がない仕事の面白さ 地域に貢献できる充実感

す。「完成形」がない、奥が深い世界だと思えます。

仕事のやりがいを感じる時については、「自分の手掛けた仕事が目に見える形になった時の喜びが大きいですね。私が初めて一人で任せられた仕事は、鉄筋コンクリート製配水池の耐震補強設計だったので、現場の浄水場が自宅のとなり町にあり、小さな浄水場ですが、自分も地元に貢献することができたという嬉しい充実感がありました」と笑顔で話す。

土木も機械もできる技術者になりたい

これからチャレンジしてみたい仕事についても聞いてみた。

「ポンプ設備の設計を担当したことがきっかけで電気や機械の仕事に興味を持ちました。最近、

私の所属している課にベテランの先輩が入ったので、いろいろ教えてもらっているうちに、将来は土木も機械も両方できる技術者になりたいと思うようになりました。もう一つは下水道の仕事なのですが、実は昨年結婚をしまして、義理の父が

下水処理場のプラント設備の設備工事を行う会社に勤めているので、設計と設備工事のコラボができれば嬉しいですね。」
最後に、就活生へのメッセージをいただきました。

「オリジナル設計は、自分の意見をしっかりと持っていれば、若手でも主張を聞いてもらえますし、やりたいと思う仕事のチャンスをくれる所が良いところだと思えます。皆さんと一緒に仕事ができるのを楽しみにしています！」



既設井戸の寸法を測る坪井さん

地域のホームドクターに



オリジナル設計
関西支店 石川技術課

益 一平さん

石川事務所では、自治体の下水道事業全般をサポートする仕事を経験しています。事務所の営業・技術、そして全社的に有するノウハウが一体となって計画、経営を含めた自治体支援を担う「ホームドクター」としてのやりがいを感じています。将来は、こうした経験も生かしながら、総合的にお客さまの課題に向き合える技術者になれるように成長していきたいと思っています。

現在、技術士の資格取得に向けた勉強に励んでいます。社内には多彩な資格の有資格者が多くおり、キャリアアップの社内サポートも充実しています。就職活動期は不安も大きいと思いますが、ぜひ当社に飛び込んでもらいたいと思います。

■変化する働き方

大学では、環境工学を専攻して下水処理の研究をしていました。研究室の教授が上下水道コンサルタント会社出身ということもあり、将来のキャリアをイメージしやすかったことが水を学んだきっかけの一つでした。オリジナル設計との出会いはウェブサイトを調べて電話し、会社説明会に参加したことが始まりでした。仕事内容に興味を持ったことが第一でしたが、上場企業であり、福利厚生が充実していることも入社を決め手になりました。

■地域のホームドクターに

大阪事務所での4年間の勤務を経て、石川事務所に転勤し今年で社歴は8年目です。

大阪事務所時代に初めて担当した宅地造成地域の下水道管きよ設計は、

先生や先輩方が語るコンサルタントの仕事内容から、資料に囲まれながら多忙を極める仕事をイメージして就職しましたが、想像は良い意味で裏



専門性生かした設計



オリジナル設計
水インフラ本部 コンサルティング一部
エンジニアリング課

坂本 和磨さん

■水への想い

自然豊かな長野県で生まれ育ち、日常の中には、いつも水が身近にありました。

特に諏訪湖を物心つく前から毎日見ていたことや、もともと「自然が好き」という気持ちが強くあつたので、綺麗な自然を残したい思いが大学で水環境を学ぶきっかけとなり、専門性を生かせる水関連の仕事に就職する決め手となりました。

中でも、水コンサルタントは、イメージを設計で伝える仕事です。技術力や知識量などを駆使してお客さま目線で検討し提案を行います。お互いが納得いくアイデアへと導き、水環境の改善に寄与できることが魅力だと思っています。

■設計を通じて

得た気付き

私が担当している下水道管の実設計業務は、実際に工事に取りかかるための設計図面を詳細に作り込んでいく仕事になります。

今、下水道の世界では施設の老朽化への対応が関心事となっており、下水道管の改築・更新を手掛ける機会が増えていきます。「現有施設の機能を生かしつつ、支障なく工事を進めるためにはどうすれば良いか」「現場環境や条件を加味すればこの方法は最適か」「工事資材の数量や工期設定は妥当か」等、一つひとつ突き詰める正確性が求められます。手戻りがない最善の一手を提案することこそ、私たちコンサル

腕の見せ所ですね。実際に工事が円滑に進

んでいるのを見ると、純粋にうれしさを感じます

し、現場が長野県だった時は、地元之恩を返せているような気がするのですが、モチベーションも上がります。

■欲しいところに

手が届く制度

私生活と仕事のバランスは大切にしています。結

婚し、共働きで子育てをしているので、家族とは少しでも多くの時間を一緒に過ごしたいと思っていました。当社は、社員が働きやすい環境構築を常に意識し、望まれる制度を先に見通して整備しているのです。私もワークライフバランスを充実させた働き方ができています。

現に、育児休暇や有給休暇を適切なタイミングで取得できるので、子育てを中心とした働き方で、在宅勤務も上手に活用するなどして、家族との時間を増やしています。

また、おだやかな社風が仕事面やコミュニケーションでも良い距離感を感じさせてくれるので、私が長く働く理由にもなっています。

仕事で取り組んだ実績は技術力として自分の武器になります。皆さんの専門性をぜひ当社で発揮してみませんか。



オリジナル設計(株)



福岡事務所技術一課主任

佐藤 雄哉さん

工業高等専門学校土木・建築系卒
入社6年目

上下水道の計画、
設計など

オリジナル設計は昭和37年に創業した建設コンサルタンツ。上下水道を基軸に国内外のインフラ

関連施設の計画や設計、各自治体の技術提案などを行っている。

佐藤さんは高専で土木・建築を専攻し、「下水道に関する授業を受けてはいましたが、本格的に下水道について学んだのは入社後になります」と話す。

就職説明会で話を聞き、「当社は風通しの良い社風という印象を持ちました」と話し、それは入社後も変わらないという。

「例えば、年に一回、社長が福岡事務所に来

て、会社の業績や方針を説明し、さらに直接、意見交換をする場も設けてもらっています。上下関係なく、率直に話し合える環境にあると思います」と語る。

地域特性に応じて
課題解決

平成28年に入社し、最初は岡山事務所、2年前から福岡事務所での勤務となる。

「岡山時代に携わった下水道の固定資産調査および評価の仕事が印象に残っています。上司に下水道事業の仕組みや業務の進め方などきめ細かに教えてもらいました。右往左往の状態で大変な作業を経験したからこそ、それが今の自分の基礎になっていると思います」

プロとして最適解を提案し 率直に話し合える環境に

と振り返る。
現在、下水道管渠の設計業務や改築、ストックマネジメントをはじめとする仕事に従事し、水道

関係も一部手掛ける。「上下水道とも地域によって様々な形態を持っています。その地域特性に適した課題解決を考えたいかねばなりません。それは難しいことである一方、仕事の面白みでもあると思っています」。

ねと任事の魅力を語る。
社会貢献度の高い仕事
将来の目標を聞くと
。「技術力、そして対応力を身に付けることを第一に考えています。日々の業務を進めるうえで感じるのは、現在の仕事の環境、顧客との関係は当然ながら自分一人が築いてきたものではありません。今後とも顧客との関係を維持し、より良くなっていく新規顧客との新たな関係の構築へと広がっていきたくて抱負を語る。

「下水道はあまり意識されない存在ですが、それは普段人々が意識しないくらい生活の一部になっているからだと思います。生活に欠かせない下水道を、自らの仕事で支え、地域の産業や生活に役立っていることは、やりがいにつながっています」と。さらに「顧客のニーズを満たし、かつ上下水道のプロフェッショナルとして

最適解を提案する。その結果として顧客に喜んで頂けるのは、やりがいです。成果品の納入時には何とも言えない達成感もあります

最適解を提案する。その結果として顧客に喜んで頂けるのは、やりがいです。成果品の納入時には何とも言えない達成感もあります



「風通しの良い社風」と

視野を広く、知識を深く



オリジナル設計

関西支店 大阪技術課

上田 知香子さん

針をどれだけ熟知しているかにかかっていると思います。マニュアルの内容は定期的に更新されていくので、そのたびに学び直す意欲も必要です。私は今年から技術士の受験資格ができて現在勉強していますが、資格の勉強で得た知識が実務にも反映され、相乗的に自分のスキルを向上させることができていると実感します。

■切磋琢磨しあえる

環境

私が就活をしていて、オリジナル設計に決めた一番の理由は、社員同士でしゃべっている雰囲気です。実際に入社して仕事をしていてもただ仲が良いのではなく、お互いに刺激しあえる間柄でもあるのがポイントです。休み時間に他の若手社員の仕事の話を聞いた時に、その業務について「自分だったらどうするだろう」と考えてみることも、成長の機会になっています。また、会社としても若手をバックアップしながらやりたいようにやらせてみるという方針があるため、若いうちから鍛えられる会社です。

■答えが無数にある仕事

コンサルタントを志した大きなきっかけは、大学時代に現役の水コンサルタントを講師に迎えた授業を受けたことでした。下水処理場の配置計画案を学生が一人ずつ検討するという内容でしたが、実際に手を動かしながらコンサルタントの仕事を経験してみても、処理場の配置計画一つを取っても「検討内容の着目点は人それぞれで、正解はない」ということに、奥深さを感じました。

現在は主に、下水道管まわりの設計を担当しています。こちらが提案した設計検討案と、客先である自治体の要望がうまくかみ合わず、手戻りが起こることもあります。客先との密なコミュニケーション

シオンを通じて、客先のニーズにこたえつつ、視野を広げて技術的な提案をすることが大切です。

■先輩の姿が意欲の源
入社後数年間、私の教育係として指導してくれました。先輩を目標と

できる協議と違い、突発的で予想ができない内容の問い合わせもあるのですが、豊富な知識がないと対応できません。

知識を蓄えることは、国や専門機関から発行されているマニュアルや指



た先輩を目標としています。その先輩は仕事への幅広い視野を持ち、仕事のモチベーションも高い人です。入社時、隣の席で技術的な問い合わせの電話対応等の様子を聞いていて、私とさほど歳が変わらないのに知識量が段違いだと驚かされました。電話対応は、あらかじめ準備して臨むことが



オリジナル設計 施設本部東日本施設部施設二課

田村 孝太さん

は後からでも十分身に付くので大丈夫です。文系・理系問わず、どんな学問であっても活かしていけると思います。

■新たな成長の糧に

コロナ前から積極的に働き方改革を進めてきたこともあり、全社員へのタブレットPCの支給や在宅勤務の導入など、かなり柔軟性を持っている会社だと思います。改善点があれば、若手・中堅社員が集めた意見を聞き入れる機会を設けているので、声が届いている実感があります。きつと自分に合った働き方が見つかるでしょう。

また、仕事面においてもOJTによる新人教育はもちろんのこと、部長などが相談役となる設計内容の審査会というものもあります。会社全体として、より良いものを提供するというイメージや方向性が共有できているからこそ、経験を踏まえ、多角的な意見が新たな気づきを与えてくれる場にもなっています。

初めは誰もが初心者で、できないことのほうが多いです。互いに支え合いながら、一丸となって一つの成果品を作り上げるということが、自身の領域を広げ、成長につながっていくと思えます。私たちとともに日常の水を守っていきましょう。

を重視して設計を進めるため、デスクを離れた仕事も多くあります。要望を形にするまで、半年〜3年の長期で進めていくので、お客さまと二人三脚で検討・提案を重ねながら、お互いに納得できるまで良いものを一緒に作っていく感じです。設計内容に対して良い評価をいただけた時は、正直に嬉しいですね。

■かみ砕いて提案する仕事

水コンサルタントの仕事は、お客さまが持つイメージを設計により具体化させ、わかりやすく伝える仕事です。私たちが持ち合わせる技術力や知識量を存分に発揮して、相手が思い描くイメージに合致するものを形作っていきます。

一見、デスクワークのイメージがあるかと思いますが、現地調査の結果

■自分の仕事に誰かのために

人体の約70%が水という話があるように、水は私たちの生活に直結し、生きていく上で欠かせないものです。その水を運ぶ上下水道

は、何不自由なく使用できることが当たり前と認識していました。しかし、実際にはその当たり前を維持するための下支えをしている仕事が存在し、私たちの日常が保たれていることに気づき、陰ながら社会を支えている姿に興味を持ったことが、水コンサルタントを知りきっかけになりました。

大学では、建築構造系の研究室に属していたので、特別水に詳しいわけではありませんでしたが、入社直後から東日本大震災で被災した処理場の復旧作業に携わった経験が「持てる知識を通じて誰かの役に立ちたい」という思いを強くしました。

今年で入社11年目になります。右も左もわからない状態からスタートした仕事でも、知識や技術



イメージを設計の形に

水×ITに可能性を感じ



オリジナル設計 水インフラ本部
DX推進部アセットインフラシステム課

高島 知鷹さん

一番に接する立場として、今でもその気持ちを大事にしています。

■働きがい、はたらきやすさ大事に

コロナ禍以前より在宅でも働けるようタブレットPCの支給をはじめとする設備投資、在宅・時差出勤、TV会議システム導入など、各種働き方改革を意識した施策に率先して取り組んできました。また、10月1日付でDX推進部を発足しており、当社がこれまで開発したシステムのブラッシュアップや社内のさらなる業務効率化に向けた、デジタルトランスフォーメーションを推進する各種プロジェクトに取り組んでいます。働きがい、働きやすい環境は業界随一と自信をもって言えます。ぜひ、一度説明会に足を運んでみて下さい。

■経営や事業効率化を支える仕事

東海大学情報通信学部でプログラミング等を専攻していました。同期の大半がIT関連企業を志望する中、視野を広げる中で「社会インフラ×情報（IT）」に可能性を感じ、当時からIT分野に力を注いでいた当社に興味を抱いたのがきっかけでした。

水業界のコンサルという、管路施設関連や処理場・ポンプ場等の施設関連の設計・計画等が主だった印象を持たれていますが、自治体が今後数十年先の経営方針を策定するのを支援する業務や、日々の業務の効率化に資する業務に携わるなど、IT・経営コンサル要素も内包しています。

水インフラ分野でも情報活用が大きな流れとなっており、就活期の直感は正しかったなと感じています。仮に専攻が畑違いであっても、飛び込む勇気が自身の可能性を広げてくれます。

■エンジニアかつアドバイザーとして

上下水道台帳や設備台帳には、施設の諸元情報などの重要な情報が集積している反面、その情報が活かされていないケースが多く、活用できるような提案を図ることが強く求められています。現在の部署では水コンサルのエンジニアとして自治体に納入している上下水道管理台帳システムの保守・運用を行っており、時にはアドバイザーとして「何が必要か」どのよ

うな形で貢献できるか」を考え、現場で直面する課題や要望を踏まえ新たなICTソリューション（+α）の提案も担っています。

台帳システム業務をきっかけに数年通い続けるうち、事業の根幹をなす経営戦略の策定業務も当社に任せて

いただけただけありますが、エンジニアとして信頼され、アドバイザーとして悩みを寄り添うことで、顧客の信頼を築き上げられるのだと気が付かされた出来事でした。顧客と



オリジナル設計(株)



水インフラ本部
上水道部事業支援室

長谷川 高平さん

大学院博士課程修了
入社1年目

大学の恩師と同じ道へ

オリジナル設計は、昭和37年(1962年)創業の建設コンサルタンツ。上下水道を基軸に、国内外の社会インフラ関連施設の計画や設計、自治体に対する技術的提案を行っている。また、「働き方改革」の先進的な取り組みでは、業界を牽引する存在でもある。

長谷川さんは、大学院の博士課程で水道管路の更新をテーマに研究していた。コンサルタンの仕事を選んだ理由については、「研究室の恩師がコンサルタンの出身という点もあり、自分も同じ道をたどってきたいと思ったのが1つの理由ですが、博士3年の時に、学ばなければなら

いことはまだまだ多いと強く実感し、学術的な経験も活かすことができる仕事は何かと考えた時に、コンサルタンのという選択肢に自然と行きつきました。その中でもオリジナル設計を志望したのは、恩師の強い勧めがあったことも大きいですが、「意欲のある人に投資をしたい」という社長の考えに魅力を感じ、会社を選ぶ際に重視していた「働き方」についても共感できたからです。

新しい働き方にも 適応

コロナ禍で始まった社会人生活は大変だったのでは?と聞くと、「実は、仕事をやる上で不自由さや支障を感じたことは、ほとんどありません

学術的な経験を活かして活躍

自由な働き方で仕事も勉強も充実

んでした。というのは、博士としての3年間は、場所の制約を受けず、自由な体制で研究活動をしてきたこともあり、例えばテレワークだったり、オンラインの会議だった

り、コロナ禍での「新しい働き方」と言われているものが、自分にとっては何となく馴染みのあるもので、自分の所属する上水道部にはOECwater linkというWebの掲示板があり、質問に対してベテランの方からも色々教えていただけるので、4、5月はずっと在宅勤務だったので集中して仕事ができる

ました。社内では、新人1人に対し、先輩がほぼ付きっきりで業務の基本を一つ一つ丁寧に教えてくださるので、早く慣れることができましたし、今も関西方面の顧客との打ち合わせはWebを使って、出張や相手側の負担も抑えながら、うまくできているので、とても助かっています」と、すっかり適応できているようだ。

研究を活かした提案も

最後に、就活生へのメッセージをいただきたい。「出身の大学からの新卒入社は、私が初めてです。今年の後輩の入社が決まっているので、楽しみにしています。社長の言葉にもあるように、意欲のある人には若手でも仕事を任せてもらえるのが、当社のいい所だと思います。意欲あふれる皆さんの挑戦をお待ちしています」。

「入社して半年以上が経ちましたが、自治体の水道ビジョンの策定や基幹管路の更新計画で、大学での



Webを活用して仕事も効率的に

「信頼」が何よりも重要



オリジナル設計
愛知事務所営業

寺西 紀人さん

の導入など働き方改革の取組みを業界の中でも先進的に推進しており、個人のライフスタイルに合わせて働き方をカスタマイズできます。現在、私も単身赴任をしていますので、土日に帰省した際は月曜日を在宅勤務にすることで、日曜日も時間を気にすることなく家族との団らんを楽しむことができます。また、4月に発令された緊急事態宣言の際にも、在宅勤務の活用により在社時と変わらず業務に専念することができました。

し、上下水道の保全に貢献できていることを実感しています。

■「人」を売り込む

当社に入社して今年で11年目になります。石川事務所を採用され、北陸地方(石川県、富山県、福井県)の営業業務に10年間携わりました。入社1年目には、上司に同行し、顧客訪問を行いながら、提案書や見積の作成や補助などを行い、少しずつ仕事を覚えてきました。

私たちの仕事は、人と人との関係が大切です。転職して印象的だったことは、前職の商品を売る営業とは違い、技術力という形のないもの、言わば「人」を売り込むことです。そのため、「信頼」が何よりも重要になります。

から興味を湧きました。水コンサルタントの魅力は、当社理念にもありますが、「生活環境の保全に貢献」できることです。前職とは異なる仕事内容で戸惑いもありましたが、仕事を通じてお客さまに評価をいただくことはこの上ない喜びです。

6月からは愛知事務所へ異動となり、新天地での一からのスタートに不安もありますが、楽しくやらせてもらっています。

■労働環境の充実

当社では、早い時期から時差出勤制度、在宅勤務制度、フリーアドレス



オリジナル設計(株)



西日本施設部施設二課
井上 吏章さん
工学部電子情報工学科卒
入社4年目

「当社は上下水道を主力として、官公庁を対象に、浄水場や下水処理場、ポンプ場の設計、さらにそれら施設の耐震化や将来ビジョンの計画策定等のコンサルディング業務を行っています。インフラの要となる上下水道に携われることは社会貢献の面からやりがいのある仕事です」と井上さんは話す。

「当社は上下水道を主力として、官公庁を対象に、浄水場や下水処理場、ポンプ場の設計、さらにそれら施設の耐震化や将来ビジョンの計画策定等のコンサルディング業務を行っています。インフラの要となる上下水道に携われることは社会貢献の面からやりがいのある仕事です」と井上さんは話す。

「当社は上下水道を主力として、官公庁を対象に、浄水場や下水処理場、ポンプ場の設計、さらにそれら施設の耐震化や将来ビジョンの計画策定等のコンサルディング業務を行っています。インフラの要となる上下水道に携われることは社会貢献の面からやりがいのある仕事です」と井上さんは話す。

活中、企業説明会で、当社のブースに足を運んだのが最初です。その後、面接を受けて、自分の経験や価値観、将来像などを率直に話しました。私の考えに共感していただき、私の価値観を尊重してもらええる会社だと感じ、入社を決めました」と振り返る。

貴重な経験を重ね

企業説明会で初めてコンサルタント業務を知り、平成28年4月に入社。主な担当はプラント電気の設計になる。1年目はOJTによる設計業務がメインとなる。2年目からは設計業務に加え、国の省エネ法に則したエネルギーの合理化計画の策定、下水道のス

重要なインフラ整備に貢献 技術力で最適解を提案し

内部の仕事として、新卒の採用活動も行っています。4年目に入り、早く自分で責任をもって仕事を全うできるよう頑張っているところですね。また将来的には人材育成など教育体制の整備なども手掛けたいという希望を持っています。

「先輩に同行し、上下水道事業体などに足を運んでお客様のニーズを聞きながら、業務を行っています。3年目からはこれまでの業務とともに、当社

「新卒の採用活動も研究発表も成長につながる貴重な経験です。会社からそういう場を与えていただけて感謝しています」と語る。

社会貢献の魅力ある仕事

就職を考えている学生には「コンサルタント業務はコミュニケーションが重要です。お客さまの要望をしっかり聞くことが、それに対し、技術力で最適解を提案していく仕事です。建設コンサルタントの中でも、当社が担う上下水道は無くてはならない重要なライフラインです。社会貢献に繋がる魅力ある仕事ですから、学生の皆さんには興味・関心を持っていただきたいと思えます」と呼び掛けた。



コミュニケーション能力も重要

地域の水環境を支え守る



こなすなど、無理が生じないよう効率的かつ柔軟に仕事を行っています。キャリアを積み、5年、10年先の働き方を考えていく上では、もちろん日々の仕事のスキルアップも大事ですが、就職活動を控える皆さんにとってはこうした環境が整っていることが大きなメリットになると思います。

オリジナル設計

施設本部東日本施設部施設三課課長補佐

真島 佑介さん

■他分野から飛び込む
学生時代は建築学を学び、新卒でマンシヨンの設計事務所に就職し8年間勤めました。30歳の節目を迎え、異なる業界でクリエイティブなことに挑戦したいと考えていた時、人づてに当社を紹介されたのがきっかけでした。建築という軸足は同じですが、全く異なる業界へのアプローチでした。

■一気通貫で向き合う
入社から5年が経ち、主に下水処理場やポンプ場の建築領域の設計、老朽化した建築構造物や設備の調査などの業務に携わってきました。最初の設計から現場工事の段階まで、時には数年にわた

り一気通貫で向き合う仕事です。行政の方、現場監督、時には地域住民など、多様な立場の人と意識を共有し、同じ方向に向かっていく。自分の手掛けた施設が地域の水環境を支え、水害から住民を守るという意味では、やりがいを感じます。

れ、長女の保育園の送り迎えが日課となりました。幸いにも時差出勤制度やテレワーク環境が整備されており、これをうまく活用し、出勤時間の調整や家にながら軽作業や簡単な業務指示を

■広がる世界にチャレンジ精神で
同じフロアの人だけでなく、外部の方々を含めさまざまな立場の人と相対し、コミュニケーションを図りつつ進めていく仕事ですので、自分の世界は確実に広がります。そうした環境の中で、チャレンジ精神をもってものづくりに取り組める方と、ぜひ一緒に働きたいと思えます。

当社では数年前に働き方改革の一環でフリーアドレスを導入しましたが、前職で建築を通じた環境に携わる仕事をしてきたことで白羽の矢が立ち、プランニングから社内プレゼンまで一通り手掛けました。そういった意味では、学生時代に

「水」のことが分からなかったり、仮に専攻が異なっても、「他を知

■効率的、柔軟な仕事環境
昨年11月に次女が生ま





オリジナル設計 西日本支店
岡山事務所技術課課長代理

鈴木 淳夫さん

■国内外の知見を考察に活かす

大学院を修了後、配属先は岩手と宮城の営業所でした。そこで計4年間の業務を経験し、その後は現在に至るまで岡山事務所に配属され、今年で入社19年目を迎えています。

東北の営業所時代には、岡山では経験することのできない降雪による現場測量の大変さなどを経験し、地域や現場条件の違いが大きいことなどを学べたことは良い経験だったと思っています。

また、ある時、仕事の関係で海外での設計業務を担当したことがあったのですが、「ステンレスなどの高価な材料は工事をした翌日には盗まれる。錆びても良いから鉄を使用し、ボロボロになったら取り替えれば良い」といった状況を体験

したことで、地域によっては日本とは180度違った視点で考える良い経験でした。

■維持管理時代だからこの水コンの役割

現在の下水道事業は、従前の建設工事を中心とした時代から、建設後の施設をいかにマネジメントしていくかが主な業務になってきています。また、今後の持続ある事業運営のためにも公営企業会計の適用や経営戦略の立案・実施が求められるなど、基盤強化に向けた取り組みがこれまで以上に求められる時代になっていく状況です。

そうした背景から、私が普段から担当している業務についても従来の施設設計はもちろんですが、ストックマネジメント計画の策定業務や公営企業会計の移行支援業務

の割合が増えてきており、本格的な維持管理時代の中でコンサルタントとして下水道事業の持続に向けた提案をしていくことを担っています。

■全体を捉える力を大切に

コンサルタントと聞くと「資料に埋もれながら

図面を引く」というイメージを持たれるかもしれませんが、当社では他のコンサルタントに先駆けて働き方改革を推進しています。特に本社だけでなく各事務所を含めたテレワークも可能

なICT環境を整備しているほか、事務所の配席を固定しないフリーアドレスを導入するなど業務効率化やコミュニケーションのさらなる向上も図っているところです。

さらに、年に1度は当社の菅伸彦社長が各事務所を巡り、アルバイトや社員と直接意見交換する場面を設けていたなど、上下の距離感が近く、何か困ったことがあればすぐに相談できる風通しの良い職場だと感じています。

一方で、設計図面を書きしていた時代からPCやCADというツールの変化によって、設計作業の利便性は大きく向上しましたが、設計の一部分のみを集中して考えるのではなく、対象全体を捉える感覚を大切にするのが今後のコンサルタントには求められるのではないのでしょうか。



全体捉え事業持続に貢献

公共事業の旗振り役



オリジナル設計 施設本部
東日本施設部施設三課

平澤 貴典さん

です。その施設に最適な機種の選定はどうしたら良いか、円滑に工事を進めるにはどのような配慮や工夫が必要か等、顧客の声に耳を傾けつつ最適な提案を心がけています。

設計という「図面と睨めっこする、図面を引く」イメージをもたれがちですが、部署を跨いでチームを編成し、自治体に代わり処理場設備全体の更新プランを立案することもあり、幅広い分野の業務に携わることができ、国内のみならず、海外にも仕事のチャンスがあります。

■ワークライフバランス実現へ

コンサルタントは人がすべての会社です。当社は業界内でも率先して従業員が働きやすい労働環境づくりを目指し、ワークライフバランスの実現へ各種取り組みを進めています。フリーアドレスやテレワーク環境が整えられており、加えて在宅勤務制度など、自由なスタイルで仕事が行えるのも魅力です。

社員のやる気向上とともに、会社全体の業績も年々右肩上がりのようです。インターンシップも受け付けていますので、ぜひ私たちの仕事を肌で感じてみてください。



■公共事業の旗振り役
学生時代は水・熱の流体力学が専攻でした。下水処理の課程で行う曝気（微生物を活性化させるため液中に酸素を供給す

ること）効率の数値計算を研究題材とするなど、下水道に関心がありました。私自身、秋田県出身で、仕事を通じ地元貢献がしたいとの思いが強

く、就職セミナーを通じて秋田県で多くの業務を手がける当社を知ったのがきっかけでした。公共事業においてコンサルタントは民間サイドの旗振り役として大きな役割を果たしています。われわれが思い描いたものが形となり、地域社会に還元されるなど、社会貢献につながる仕事の魅力です。

■顧客の声に耳を傾ける

現在入社4年目で、下水処理場の機械設備の設計担当部署に所属しています。処理場にはさまざまな種類・役割の機械設備があります。新たな機械設備の設置や、老朽化した機械設備の更新などを手がけるのが主な業務



オリジナル設計

樋口 大輔氏

■入社のおきっかけ

顧客が官公庁である安定性と、都市活動を支えるインフラ分野に携われるという公共性の高さに魅力を感じました。

もともと、埼玉県内の大学で建築を専攻していました。卒業後、同県内のガス供給会社に就職しましたが、1年後に実家の都合で地元・新潟に帰郷せざるをえず、地元で就職先を探す中で、偶然、オリジナル設計が新潟事務所の現地採用募集をかけていました。

その時初めて同社と水コンサルタント分野に触れ興味を抱いたのがきっかけです。

■10年前の私

10年前は、ちょうど大学で建築の勉強と、部活動として小学生から始めたサッカーに勤しんでいた頃です。

入学時に3年生までに必要単位を取得し、4年生では卒業論文と就活に専念する計画を立て実現しました。内定も仲間内で一番乗りです。もちろん、空いた時間は友人らと楽しい時間も共有しましたが、今振り返ると限られた交友関係に拘らず、大学生ならではの余暇を有効に活かし「今以上に遊び多くの人とかかわれ」と背中を押したいですね。

社会人として過ごす中で、余暇はなかなか持てませんし、そうした経験が将来生きることが今は分かるからです。

■入社してからの自分を振り返って

入社して今年で6年目の30歳ですが、この会社と出会えてよかったと心底感じています。当然、周りの支えがあってこそです。ですからあっという間の6年間です。

私の仕事は下水道施設の計画立案で、主に5～7年間で実施する予定の施設の配置等を定める計画を手掛けています。最近、建設専門新聞に私が手掛けた雨水ポンプ場建設計画が掲載され、改めて仕事の重要性を認識し、地域社会への貢献を実感しました。公共インフラですので責任も重く、完成後、現地に足を運んでしまうこともしばしばです。

3年前に手掛けた浸水対策の計画では、雨水対策施設の設計を伴う計画で、完成後、対策の効果が確認されています。昨年結婚した妻を現地に連れていき自慢していますが、あまり関心が無いようです(笑)。

人づくりのできる管理職に

■10年後の自分

今の職場では、素晴らしい先輩方との出会いに恵まれました。特にお世話になったのは所長です。忙しいはずなのにいやな顔一つせず、公私ともにケアしていただきました。そのおかげで今、仕事が楽しくて仕方ありません。

入社時の事務所は約20人で、若手は私一人で正直戸惑いましたが、今では9人に増えました。

所長にしてもらったように若手を支え、オフにはバーベキューなどを企画し仕事がしやすい環境づくりを心がけています。必要があれば、会社に提案し主体性を持って何事にも臨んでいます。

10年後には、今いる若手社員の中でリーダーシップをとり「人づくり」を実践できる管理職になれたらいいですね。

■こんな会社です

計画・設計の仕事の答えは、一つではありません。案件ごとにゼロベースから積み上げ自治体に提案する仕事は、難しさこそあれ、やり甲斐を感じています。

日々工期とコストという現実と向き合いながら、時間を忘れ計画づくりに励んでいます。計画が採用された時の充実感は何事にも代え難く、自分の成長につながっていると実感できます。

特に世界的な異常気象傾向が指摘され、新潟でも豪雨被害が頻発しています。地域・住民を大雨洪水から守ることが仕事ですので、残念ながら、これからさらに忙しくなると覚悟しています。

私が考える水コンサルタントは「足で稼ぐ」が信条です。現場に通い、その土地の特徴や歴史を調べ、自治体に寄り添って地域に最適な計画を立案します。今では自治体担当者からよく相談の連絡が入るようになりました。嬉しい限りです。

■就活生の皆さんへ

当社の菅伸彦社長は、毎年全国の出先組織を回り社員との意見交換会を開いてくれます。その場で「若手の面倒を見てくれよ」と直接声を掛けていただきました。

また、所長と課長の後押しもあり、当社初の県内リクルート活動を行い、社長賞を頂戴しました。それにより3人の採用に結びつけました。

チャレンジさせてくれる会社であり、誠実に仕事に取り組めば、年齢に関係なく責任のある仕事も任せられる会社です。

素直で前向きな人であれば私同様、土木や衛生を専攻していなくても、責任もって育て上げます。みなさん、挑戦してみてくださいはいかがですか。

(東日本支店新潟事務所技術課所属)

オリジナル設計(株)



西日本支店福岡事務所技術二課

許斐 正昭さん

工学部社会デザイン工学科卒 入社3年目

下水道計画を業務に

先度の高い区域において5から7年の間に整備可能な内容を策定する『事業計画』などがありま

す。技術二課ではこうした業務を担当します」と説明する。

大学時代の研究活かし

「社会インフラの設計に関する仕事に興味がありました。大学では水質浄化に関する研究を行っていましたが、学んだ事を活かせる業界に進みたいと思っていました。教授の薦めもあって当社に入りました」と志望動機を話す。

入社後、1年目は先輩からのOJT、2年目から主担当となって自分で資料収集・計画策定を行

「計画業務は、下水道の整備方針を決定する『基本構想』、概ね20年後の人口予測等から、公共

下水道の予定区域における処理場・幹線管渠など根幹施設の規模や配置を考

える『全体計画』、優

全体・事業計画の策定担当 社会貢献度の高い仕事

うようになる。

「心がけていることはお客様への分かりやすい説明です。当初は、自分本位な説明の仕方や早口になっていたりもしました。初めて見た人でも分かりやすい資料作り、話し方を模索しながら業務に取り

組んでいるという事です」と語る。
仕事で行き詰まった時に頼りになるのは先輩だ。

「技術的な内容など上司や先輩に相談し、実際の対応の仕方などを確認します。困ったときにも気軽に相談できるのが当社の社風です。当社の強みだとも思います」と。

熊本地震では支援活動も

今は下水道部門の計画設計のみだが、今後は実施設計、さらには水道部門も手がけてみたいという。

「現在、上下水道など公共施設は耐用年数を迎えて、多くが更新の時期と

なっています。今ある施設をどのように活用していくのか。あるいは維持管理についての提案なども行いたい」と今後を話す。

また「建設コンサルタントはお客様からのニーズに対応する具体的な方法を提案・設計します。そのため、技術的な内容を含め、熱心に質問されることが多く、人に必要とされることを実感できる仕事だと思っています。また熊本地震などでは支援活動の一環として現地調査も行いましたし、社会貢献度の高い仕事です。就職を考える学生の皆さんにも興味を持っていただければと思います」と呼びかけている。



熊本地震の現場調査